

令和7年度 飯田小学校 学校評価だより

(最終結果報告)

令和8年3月

《学校教育目標》 学びが楽しい 飯田小学校

～心をあわせ、はつらつと、学びの道にいそしむ児童の育成～

令和7年度後期の学校評価にあたり、12月に実施した児童・保護者・教職員による三者アンケートの結果をもとに、皆様から寄せられたご意見を丁寧に確認いたしました。日頃の学校生活の様子や教育活動に対して、多くの温かい声や建設的なご意見をいただき、心より感謝申し上げます。

これらの貴重なご意見を踏まえ、2月27日に開催された学校運営協議会では、児童の成長の様子や学校の取組状況についてご報告し、委員の皆様と活発な意見交換を行いました。学校の現状を多面的に見つめ直す機会となり、今後の教育活動に生かすべき視点を改めて共有することができました。

当日いただいたご意見も含め、学校としての改善の方向性を整理し、最終評価としてまとめたものが今回の内容です。本号では、特に成果が見られた点と、今後さらに改善を進めていくべき点について抜粋してご報告いたします。また、保護者の皆様や学校運営協議会委員の皆様から寄せられたご意見の一部も併せて紹介し、学校の取組をお伝えいたします。

<最終評価結果>

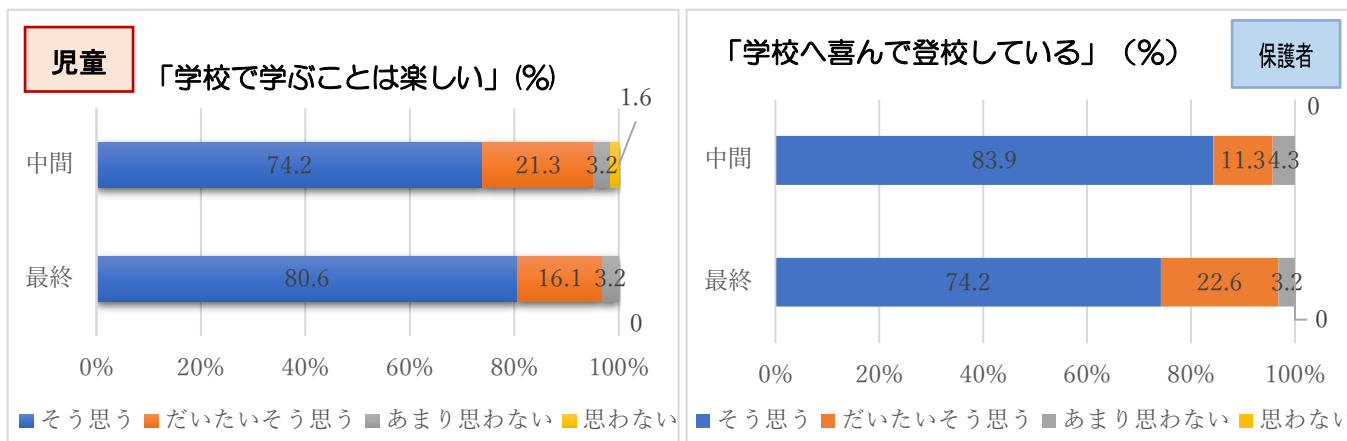
取組項目	学校自己評価		運営委員評価	
	中間	最終	中間	最終
① 学びが楽しい学校づくり	A	→ A	A	→ A
② 主体的に課題解決する児童の育成	B	→ A	B	→ A
③ 家庭学習習慣の確立	D	→ B	D	→ B
④ 特別活動の充実	D	→ C	D	→ B
⑤ 規範意識の高揚	B	→ A	B	→ A
⑥ 自己健康管理能力の向上	A	→ A	A	→ A
⑦ 家庭・地域との連携協力体制の確立	A	→ A	A	→ A
⑧ 業務改善	C	→ B	C	→ B

基準を強肯定100%としたためにCとなっているが、実際にできている成果も上がっているためB評価でよいであろう。

<成果がみられた取組>

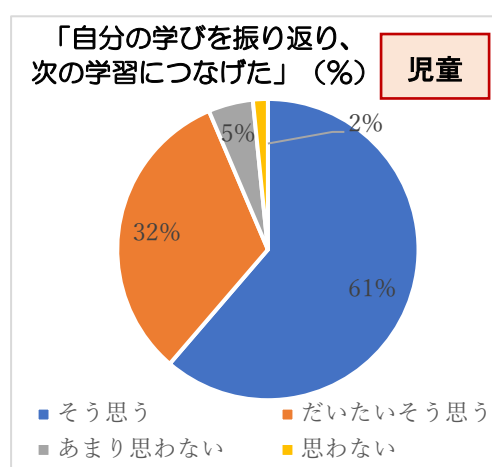
①「学びが楽しい学校づくり」

生徒指導の4つの視点を軸に、心のケアや学び合い、主体的な学習、地域との連携を進めてきました。震災後も外部専門家と連携し、児童が安心して学校生活を送れるよう支援を続けています。2学期には多くの行事があり、学年や個に応じた目標をもって取り組んだことで、達成感や自己有用感の向上につながりました。こうした経験を通して、児童が自分の役割を果たし、自信をもつ姿が増えています。その結果、児童の自己肯定感や学習意欲は概ね高い水準を維持し、「学校が楽しい」と感じる児童が多く見られました。特に低学年では肯定的な回答が大きく伸び、行事や学級活動を通して成長を実感する場面が増えています。学び合いの授業でも、互いの意見を認め合い、学びを振り返る姿が定着してきました。一方で、高学年では学習内容の難しさが自己肯定感や人間関係に影響する場面もあり、段階的な課題設定や安心して相談できる関係づくりが引き続き重要です。基礎基本の定着も全学年の課題として、授業と家庭学習の両面から支援を続けていきます。



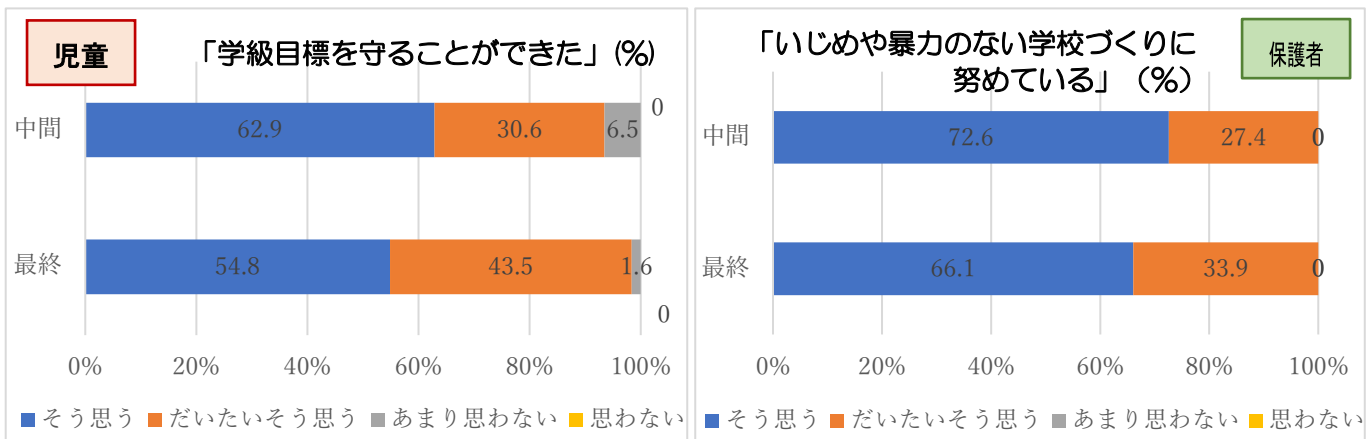
② 「主体的に課題解決する児童の育成」

教職員アンケートでは、「子どもたちに学び方や学習内容を選択させる場を設定した」と肯定的な回答をした割合が、中間評価の88%から100%へと大きく伸びました。授業の中で「どの力を育てたいのか」「そのためにどのような支援が必要か」を明確に思い描くことで、児童への声かけや個別支援がよりの確になったことが背景にあります。こうした授業改善により、児童も授業のねらいを意識しながら、自分に合った学び方を選ぶ姿が増えてきました。振り返りの習慣化によって、自分の学びを客観的に見つけ、成長を実感できる児童も多くなっています。「自分はこう学ぶと理解が深まる」という気づきが生まれ、主体的に学ぶ姿勢が育ち始めています。一方で、身につけた学び方を他教科や他の場面に応用する力は、まだ十分に広がっていません。授業ごとに学び方が“点”で終わり、他の場面へ“線”としてつながりにくい状況が見られます。そこで来年度に向けては、理想とする学び方を「いいだの学び方」として冊子にまとめ、教師と児童が共通理解をもてるようにします。どの教科・どの場面でも、課題に応じて自ら学び方を選択できるよう、学校全体で取り組みを進めていきます。



⑤ 「規範意識の高揚」

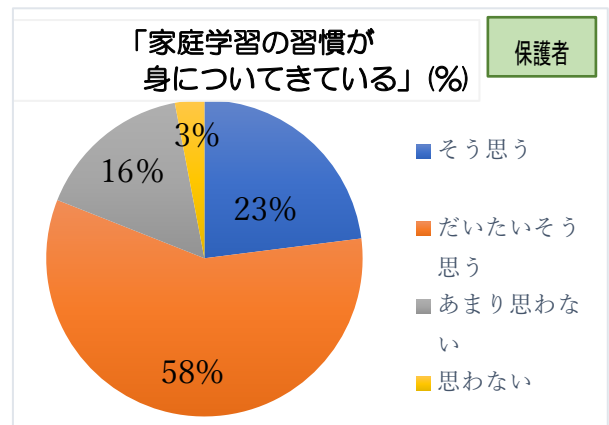
毎月、代表委員会を中心に学校目標を設定し、児童が学校生活をよりよくするための視点をもって行動できるよう取り組んできました。児童が主役となる活動を通して、社会的なルールやきまりを「自分たちで守るもの」として捉える姿が広がっています。また、全職員が「全校児童の担任である」という意識をもち、日常的に児童の様子を見守りながら、いじめの兆候を早期に把握できるよう努めてきました。学期に1回のいじめ撲滅集会も実施し、いじめや暴力行為のない学校づくりについて全校で考える機会を設けています。その結果、児童アンケート「学校目標が守れましたか」では肯定的回答が98%となり、学校目標を意識した生活が定着してきています。保護者アンケートでも「いじめや暴力行為のない学校づくりに努めている」の肯定的回答が100%となり、日頃の情報共有や実態把握が未然防止につながっていると考えられます。一方で、「強い肯定」の割合はやや減少しており、学校の具体的な取組が十分に伝わっていない可能性があります。今後は、学校だよりや懇談会などを通して、未然防止の取組をより丁寧に発信し、学校の姿勢をしっかりと伝えたいと考えています。



<改善が必要な取組>

③「家庭学習習慣の確立」

5月の調査では、学年ごとの目標時間を達成できていた児童は42%でしたが、12月の調査では70%まで増加しました。学期末の漢字まとめテストや評価問題など、具体的な目標を設定して取り組んだことが、意欲の向上につながったと考えられます。また、クロームブックを活用し、家庭で「e-ライブラリ」というAIドリルに取り組む期間を設定しました。その結果、自分に合った学習を自主的に選んで取り組む児童が増え、家庭学習の質の向上にもつながっています。一方で、課題も見られました。多くの児童が目標時間を達成し



ている一方で、目標時間の半分にも満たない児童が7名いました。家庭学習に取り組めない背景として、生活リズムの乱れや、ゲーム・動画視聴の優先などが考えられます。今後は、保健指導とも連携しながら、生活習慣の改善と家庭学習の習慣化をさらに支援していきたいと考えています。

④「特別活動の充実」

成果として、「友達の考えを聞きながら、自分の考えを話すことができた。」についての児童の肯定的な回答は全体の9割に達しており、良好な人間関係づくりが進んでいることがうかがえます。特に、自分の考えを表現することに苦手意識をもっていた児童が、進んで発表するようになるなど、自ら話そうとする態度が育ってきています。

また、教職員のアンケートでは、「そう思う」と回答した割合が前回から27%増加し、約8割に達しました。これは、計画的に行っている校内研修を通して、目指す児童の姿を職員全体で共有し、日々の授業実践に生かしてきた成果だと考えています。一方で、課題も見られました。児童の肯定的回答の総数に大きな変化はなかったものの、「そう思わない」という回答が増えており、話すことに抵抗を感じる児童が一定数いることがわかりました。今後は、話し方のモデルを示すなど、苦手意識のある児童も「自分も話してみたい」と思えるような手立てを引き続き工夫していきます。また、教職員については、強い肯定の割合を100%に近づけたいと考えています。実践の共有や意見交換をさらに進め、具体的な成功場面を職員全員が思い描けるようにし、特別活動の質をより高めていきたいと思っています。



《保護者アンケートに寄せられたご意見》

いつも子どもたちのことを見てくださり、ありがとうございます。学級だよりも楽しく読ませてもらっています。

→温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。

お子さんたちの成長を日々見守りながら、これからも安心して通える学級づくりに努めてまいります。

宿題が多く、帰ってきてから寝る前まで宿題をしている時がよくあります。

→本校では、児童の生活リズムや学習意欲、学年の特性を踏まえながら、宿題の量や質を調整しています。宿題の内容や量について、児童の実態を踏まえながら見直しを図り、学びの充実につながるよう工夫してまいります。

異学年・男女関わらず、仲良く毎日楽しそうに学校に通っています。いつもありがとうございます。学校ではないかもしれませんが、行事等で少し負担を感じられている方もいらっしゃるようです。いいフェス等はもう少し簡略化したり負担の少ない形で開催したりできればと思います。

→日頃よりお子さんの学校生活を温かく支えていただき、ありがとうございます。PTA行事でのご負担についてのお声もしっかり受け止めました。いいフェスが無理なく参加できる形になるよう、PTAの皆様とも相談しながら、よりよい在り方を一緒に考えてまいります。

5年生になってから勉強をやるようになったと感じています。ありがとうございます。

→そのように感じていただけて嬉しく思います。5年生での頑張りはお子さん自身の成長の表れです。これからも成長をしっかり見守り、学習面でも力を発揮できるよう支えてまいります。

放課後子ども教室で宿題や読書をしています。家庭学習といえるかわからず、いつもどう答えてよいかわかりません。

→放課後子ども教室での宿題や読書も、家庭学習の一部として大切に考えています。ご家庭での負担が大きくなるよう、取り組めた内容を合わせて見ていただければ十分です。

趣味を頑張っているのは良いのですが、勉強がおろそかにならないか、ちょっと心配です。

→趣味に一生懸命取り組んでいることは、とても素晴らしい成長だと感じています。好きなことに集中できる力は、学習にも必ず生きてきます。勉強面についても、必要なところはしっかり支援していきますので、どうぞご安心ください。

《学校運営協議会でいただいたご意見》

生活習慣や学習習慣は、やはり毎日の積み重ねだと感じています。わが子の話でも、優秀な友達ほど試験前に慌てて勉強するのではなく、日々コツコツ続けて自分の力にしていたそうです。小さい頃からの積み重ねを大切にしたいものだと思います。親はあまり意見を言わず、見守ることも大切なかもしれません。

9年間PTAとして関わる中で、飯田の温かい地域のつながりを強く感じてきました。秋祭りの子どもキリコや、PTA主催のいいフェスでは、多くの方に支えていただき、子どもたちの笑顔があふれました。小学生の熟議が地域と結びつき、形になったことも大きな力だと思います。これからも、このつながりを生かした飯田町らしいコミュニティスクールが続いていけばよいと思います。

町づくり協議会に関わっているが「子ども熟議」の意見を聞くのはよい機会である。子どもたちが町の未来を考えてくれていることがありがたい。一緒に取り組めるといい。

「子ども熟議」の意見に「木を植えたい、花を育てたい」とあったが、町づくり協議会でも、苗木をいただく計画があり、一緒にできるとよい。

生活習慣は中学校へ上がると崩れがちである。特に定期考査の際には、無理をしていないかと心配になる。しかし、小学校で取り組んだバランスアップ週間の取組のおかげで、大崩れはしていないと感じている。

6年生の宿題が緑丘中学校の方式に変わり、最初は大変そうでしたが、2週目には自分で考えて取り組めるようになりました。中学校へのよい橋渡しになり、計画的に学ぶ姿勢も育ちそうです。

いいフェスで「町の祭礼子ども祭り」の指導に関わり、町で会う子どもたちが挨拶してくれることに大きな喜びと親しみを感じています。祭礼後の町内かすみでも、飯田小の児童や他町の子、保護者が一緒に踊り、みんなで盛り上がりました。とても良い思い出になりました。



【子ども熟議の様子】

大変貴重なご意見を頂きましてありがとうございます。飯田小学校は、家庭・地域の皆さんと一体となって、お子様たちの教育にあたってまいりたいと思っています。今後ともご協力の程、お願い致します。